



S13683-03DT/-04DS

I²C対応カラーセンサ

S13683-03DT/-04DSは、I²C (アイ・スクウェア・シー: inter-integrated circuit)インターフェースに対応したカラーセンサです。Red ($\lambda_p=615$ nm)、Green ($\lambda_p=530$ nm)、Blue ($\lambda_p=460$ nm)のそれぞれに感度をもち、検出結果は各色16ビットのデジタル値で出力されます。各色のフォトダイオードを順番に自動的に切り替えて測定します。感度と積分時間の設定が可能で、広範囲の測光が可能です。

特長

- I²Cインターフェース対応
- Red/Green/Blue/補正用chの連続測光
- 補正用チャンネル
フィルタを通らない入射光を検出するチャンネル。
高精度RGBデータを取得するために、外部処理にて補正用
チャンネル出力を差し引く必要があります。
- 2段階の感度切り替え機能 (感度比 1 : 10)
- 積分時間の設定による感度調節が可能 (1~65535倍)
- 低電圧 (2.5 Vまたは3.3 V)動作
- 低消費電流: 75 μ A typ.
- 赤外カットフィルタ付き
- 広いダイナミックレンジ (Lowゲイン: 1~10 k/lx)
- 標準梱包形態
S13683-03DT: リール
S13683-04DS: スティック

用途

- 携帯電話・ノートパソコンなどの液晶バックライト調光
- 大画面テレビなどの省エネセンサ
- 各種光量検出および色度調整

絶対最大定格

項目	記号	条件	定格値	単位
電源電圧	Vdd	Ta=25 °C	-0.3 ~ +4.5	V
出力電流	Io	Ta=25 °C	±10	mA
許容損失	P	Ta=25 °C	300	mW
動作温度	Topr	結露なきこと*1	-40 ~ +85	°C
保存温度	Tstg	結露なきこと*1	-40 ~ +105	°C
はんだ付け温度*2	Tsol		240 (1回)	°C

*1: 高湿環境においては、製品とその周囲で温度差があると製品表面が結露しやすく、特性や信頼性に影響が及ぶことがあります。

*2: リフローはんだ付け、IPC/JEDEC J-STD-020 MSL 5a、P.10参照

注) 絶対最大定格を一瞬でも超えると、製品の品質を損なう恐れがあります。必ず絶対最大定格の範囲内で使用してください。

■ 推奨動作条件

項目	記号	条件	Min.	Typ.	Max.	単位
電源電圧	Vdd		2.25	-	3.63	V
I ² Cバスプルアップ電圧*3	Vbus	Rp=2.2 kΩ	1.65	-	Vdd + 0.5	V
Highレベル入力電圧 (SDA, SCL)*4	Vih	Vbus ≥ 2.25 V Vdd > 2.75 V	0.7Vbus	-	Vdd + 0.5	V
		Vbus < 2.25 V Vdd ≤ 2.75 V	0.8Vbus	-	Vdd + 0.5	V
Lowレベル入力電圧 (SDA, SCL)*4	Vil	Vbus ≥ 2.25 V Vdd > 2.75 V	-0.5	-	0.2Vbus	V
		Vbus < 2.25 V Vdd ≤ 2.75 V	-0.5	-	0.3Vbus	V
バス容量 (SDA, SCL)	Cbus		-	-	400	pF

*3: 詳細についてはI²Cの仕様書“The I²C-BUS SPECIFICATION VERSION 2.1”を参照してください。

*4: Vdd - Vbus < 1.2 V

この条件を満たしていない場合は、動作を保証できません。

■ 電気的および光学的特性

■ センサ部 [指定のない場合はTa=25 °C, Vdd=Vbus=3.3 V, A光源 (初期設定: Lowゲイン, 積分時間: 546 ms/ch)]*5

項目	記号	条件	Min.	Typ.	Max.	単位
感度波長範囲*6	λ	Blue		400 ~ 540		nm
		Green		455 ~ 630		
		Red		575 ~ 660		
最大感度波長	λp	Blue	-	460	-	nm
		Green	-	530	-	
		Red	-	615	-	
消費電流	動作モード	Idd	E=0 lx (暗状態)、	30	75	μA
	待機モード	Idds	出力電流を除く	0.1	1.0	
暗カウント	Sd	E=0 lx (暗状態)	-	-	5	counts
ゲイン比率	rg	Highゲイン/Lowゲイン	-	10	-	-
受光感度	Lowゲイン	Sbl	Blue	2.0	3.8	counts/lx
		Sgl	Green	4.7	8.7	
		Srl	Red	6.8	12.4	
		Scol	補正用ch	-	3.0	
		Sbl	Blue	2.8	3.8	
		Sgl	Green	6.5	8.7	
		Srl	Red	8.6	12.4	
		Scol	補正用ch	-	3.0	
Red/Blue感度比	Lowゲイン	Srl/Sbl	初期設定	2.4	3.2	-
Red/Green感度比		Srl/Sgl	同一チップ	1.05	1.4	
Blue/Green感度比		Sbl/Sgl		0.33	0.44	
受光感度	Highゲイン	Sbh	Blue	22.0	40.0	counts/lx
		Sgh	Green	47.0	86.0	
		Srh	Red	67.0	122.0	
		Scoh	補正用ch	-	30.0	
		Sbh	Blue	30.0	40.0	
		Sgh	Green	64.5	86.0	
		Srh	Red	85.0	122.0	
		Scoh	補正用ch	-	30.0	
Red/Blue感度比	Highゲイン	Srh/Sbh	積分時間 546 ms/ch	2.25	3.0	-
Red/Green感度比		Srh/Sgh	同一チップ	1.05	1.40	
Blue/Green感度比		Sbh/Sgh		0.35	0.47	

*5: フィルタ上面以外からの光入射がないように遮光してください。

*6: 相対感度=10%以上

*7: 積分時間を測定し、補正した場合。「感度ばらつきの補正方法」参照。積分時間の測定精度は0.36%。

■ I²C部 (指定のない場合はTa=25 °C, Vdd=3.3 V)

項目	記号	条件	Min.	Typ.	Max.	単位
I ² Cアドレス	ADDR	7ビット	0x2A (0101010)			-
I ² Cクロック周波数	fclk		1	-	400	kHz
SDA, SCL出力電圧	Highレベル	Voh	Rp=2.2 kΩ	0.7Vbus	-	V
	Lowレベル	Vol	Rp=2.2 kΩ	0	0.4	V
入出力端子容量	Ci		-	-	20	pF
SDA/SCL出力下降時間*8	tf	Rp=2.2 kΩ, Cp=400 pF	-	-	250	ns

*8: SCL/SDA出力の上昇時間は、Cbus × Rpの時定数によって定まります。

注) I²Cインターフェース (SDA, SCL)のタイミングは、“The I²C-bus specification version 2.1” に準拠

レジスタマップ

Adrs	機能	bit							
		7	6	5	4	3	2	1	0
00	コントロール	ADCリセット 1: リセット 0: 動作開始	スリープ機能 1: 待機モード 0: 動作モード	スリープ機能 モニタ	-	ゲイン選択 1: Highゲイン 0: Lowゲイン	積分モード 1: マニュアル設定モード 0: 固定時間モード	積分時間設定 (00) 87.5 μ s, (01) 1.4 ms (10) 22.4 ms, (11) 179.2 ms	
01	マニュアルタイミング レジスタ	積分時間マニュアル設定レジスタ (上位バイト)							
02		積分時間マニュアル設定レジスタ (下位バイト)							
03	センサのデータ用レジスタ	出力データ (Red, 上位バイト)							
04	(Red)	出力データ (Red, 下位バイト)							
05	センサのデータ用レジスタ	出力データ (Green, 上位バイト)							
06	(Green)	出力データ (Green, 下位バイト)							
07	センサのデータ用レジスタ	出力データ (Blue, 上位バイト)							
08	(Blue)	出力データ (Blue, 下位バイト)							
09	センサのデータ用レジスタ	出力データ (補正用ch, 上位バイト)							
0A	(補正用ch)	出力データ (補正用ch, 下位バイト)							

Adrs 00 bit 7: ビットを1にすることで、ADC部がリセットされます。レジスタデータはリセットされません。0にすることで動作が開始します。

Adrs 00 bit 6: ビットを1にすることで、待機モードへ移行します。ADC部は動作を停止します。レジスタデータはリセットされません。動作開始には“0”としてください。

Adrs 00 bit 5: 自動スリープ機能をモニタします。1の場合は、待機モードになっていることを示します。読み出し専用です。

Adrs 00 bit 3: 1の場合はHighゲイン、0の場合はLowゲインとなります。HighゲインとLowゲインで使うフォトダイオードの面積比は10:1です。このためゲイン比率は10倍になります。

Adrs 00 bit 2: ビットを1にするとマニュアル設定モードとなり、0にすると固定時間モードとなります。マニュアル設定モードでは一度測定した後、自動的に待機モードに移行します。固定時間モードでは測定は継続的に繰り返されます。

Adrs 00 bit 1,0: 固定時間モードでの1色あたりの積分時間を選択します。“00”では87.5 μs、“01”は1.4 ms、“10”は22.4 ms、“11”は179.2 msとなります。マニュアル設定モードでは、この時間の2倍が基準となるため、“00”では175 μs、“01”では2.8 ms、“10”では44.8 ms、“11”では358.4 msとなり、この定数倍の設定が可能です。

Adrs 01 & 02: マニュアル設定モードのみで有効な定数倍の時間設定。最小0x0000、最大0xFFFF (65535)まで設定できます。積分時間設定 (Tint)でセットした積分時間を何倍まで長くするかを設定します。たとえば1色あたりの積分時間を546 msに設定したい場合、Tint=“00”で175 μsに設定し、このレジスタをN=3120 (0xC30)倍に設定します。

モード	マニュアルタイミングレジスタ (Adrs 01 & 02)	積分時間設定 (Tint)			
		00	01	10	11
固定時間モード	無効	87.5 μs	1.4 ms	22.4 ms	179.2 ms
マニュアル設定モード	N	175 × N μs	2.8 × N ms	44.8 × N ms	358.4 × N ms

Adrs 03 ~ 0A: センサの測定結果は、このレジスタに保存されます。これらの値は次の測定まで保存されています。

初期設定 [Lowゲイン, マニュアル設定モード, Tint=00 (175 μs), 積分時間 546 ms/ch]

Adrs	機能	bit								Hex
		7	6	5	4	3	2	1	0	
00	コントロール	1	1	1	-	0	1	0	0	0xE4
01	マニュアルタイミング	0	0	0	0	1	1	0	0	0x0C
02	レジスタ	0	0	1	1	0	0	0	0	0x30

■ プログラム例

条件1: 初期設定 [マニュアル設定モード, Lowゲイン, Tint=00 (175 μs), 積分時間 546 ms/ch (マニュアルタイミングレジスタに0x0C30がセット)]

■ コマンド

Action		Data body								Ack	Remark
Address call (0x2A)	S	0	1	0	1	0	1	0	W	A	7ビットアドレス
Register call (0x00)		0	0	0	0	0	0	0	0	A	コントロールバイトを指定
Register write (0x84)		1	0	0	0	0	1	0	0	A	ADCリセット、スリープ解除
Address call (0x2A)	Sr	0	1	0	1	0	1	0	W	A	再スタート、アドレス
Register call (0x00)		0	0	0	0	0	0	0	0	A	コントロールバイトを指定
Register write (0x04)		0	0	0	0	0	1	0	0	A	P ADCリセット解除、バスリリース
積分時間よりも長く待機します。(>2184 ms)											
Address call (0x2A)	S	0	1	0	1	0	1	0	W	A	7ビットアドレス
Register call (0x03)		0	0	0	0	0	0	1	1	A	出力データバイトを指定
Address call (0x2A)	Sr	0	1	0	1	0	1	0	R	A	リードモードに変更
Data read out (R: 上位バイト)		X	X	X	X	X	X	X	X	A	赤データ出力
Data read out (R: 下位バイト)		X	X	X	X	X	X	X	X	A	
Data read out (G: 上位バイト)		X	X	X	X	X	X	X	X	A	緑データ出力
Data read out (G: 下位バイト)		X	X	X	X	X	X	X	X	A	
Data read out (B: 上位バイト)		X	X	X	X	X	X	X	X	A	青データ出力
Data read out (B: 下位バイト)		X	X	X	X	X	X	X	X	A	
Data read out (補正用ch: 上位バイト)		X	X	X	X	X	X	X	X	A	補正用chデータ出力
Data read out (補正用ch: 下位バイト)		X	X	X	X	X	X	X	X	A	
											P

S=Start condition, Sr=Restart condition, A=Acknowledge, A=Acknowledge by host, P=Stop condition, R=Read mode (1), W=Write mode (0), $\bar{A}$ =not acknowledge

■ フォーマット

S	0x2A (7 ビット)	W	A	0x00	A	0x84	A	
Sr	0x2A (7 ビット)	W	A	0x00	A	0x04	A	P

待機

S	0x2A (7 ビット)	W	A	0x03	A	Sr	0x2A (7 ビット)	R	A
Sensor data		A	Sensor data		A				
Sensor data		A	Sensor data		A				
Sensor data		A	Sensor data		A				
Sensor data		A	Sensor data		$\bar{A}$	P			

from master to slave from slave to master

KPIC0334JA

条件2 [固定時間モード, Highゲイン, Tint=01 (1.4 ms), 積分時間 1.4 ms/ch]

■ コマンド

Action		Data body								Ack	Remark	
Address call (0x2A)	S	0	1	0	1	0	1	0	W	A	7ビットアドレス	
Register call (0x00)		0	0	0	0	0	0	0	0	A	コントロールバイトを指定	
Register write (0x89)		1	0	0	0	1	0	0	1	A	ADCリセット、スリープ解除	
Address call (0x2A)	Sr	0	1	0	1	0	1	0	W	A	7ビットアドレス	
Register call (0x00)		0	0	0	0	0	0	0	0	A	コントロールバイトを指定	
Register write (0x09)		0	0	0	0	1	0	0	1	A	P	ADCリセット解除、バスリリース
積分時間よりも長く待機します。待機中に測定が行われます。(＞ 5.6 ms) 測定は継続的に繰り返されます。												
Address call (0x2A)	S	0	1	0	1	0	1	0	W	A	7ビットアドレス	
Register call (0x03)		0	0	0	0	0	0	1	1	A	出力データバイトを指定	
Address call (0x2A)	Sr	0	1	0	1	0	1	0	R	A	リードモードに変更	
Data read out (R: 上位バイト)		X	X	X	X	X	X	X	X	A	赤データ出力	
Data read out (R: 下位バイト)		X	X	X	X	X	X	X	X	A		
Data read out (G: 上位バイト)		X	X	X	X	X	X	X	X	A	緑データ出力	
Data read out (G: 下位バイト)		X	X	X	X	X	X	X	X	A		
Data read out (B: 上位バイト)		X	X	X	X	X	X	X	X	A	青データ出力	
Data read out (B: 下位バイト)		X	X	X	X	X	X	X	X	A		
Data read out (補正用ch: 上位バイト)		X	X	X	X	X	X	X	X	A	補正用chデータ出力	
Data read out (補正用ch: 下位バイト)		X	X	X	X	X	X	X	X	$\bar{A}$	P	

S=Start condition, Sr=Restart condition, A=Acknowledge, A=Acknowledge by host, P=Stop condition, R=Read mode(1), W=Write mode(0), $\bar{A}$ =not acknowledge

■ フォーマット

S	0x2A (7ビット)	W	A	0x00	A	0x89	A
---	-------------	---	---	------	---	------	---

Sr	0x2A (7ビット)	W	A	0x00	A	0x09	A	P
----	-------------	---	---	------	---	------	---	---

待機

S	0x2A (7ビット)	W	A	0x03	A	Sr	0x2A (7ビット)	R	A
---	-------------	---	---	------	---	----	-------------	---	---

Sensor data	A	Sensor data	A
-------------	---	-------------	---

Sensor data	A	Sensor data	A
-------------	---	-------------	---

Sensor data	A	Sensor data	A
-------------	---	-------------	---

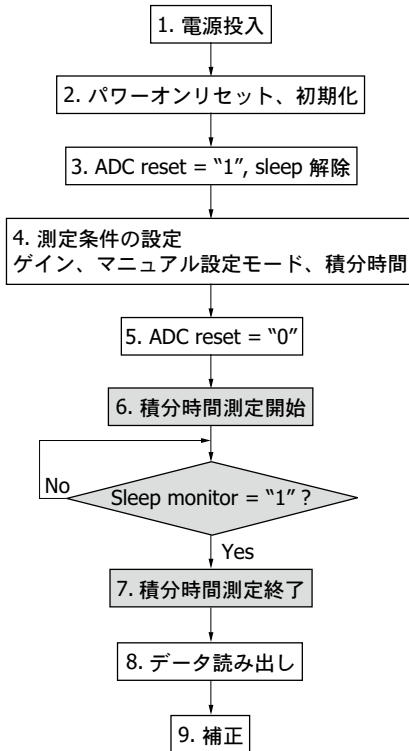
Sensor data	A	Sensor data	$\bar{A}$	P
-------------	---	-------------	-----------	---

 from master to slave

 from slave to master

KPIC0335JA

感度ばらつきの補正方法



KP1CC0336JA

積分時間を測定し、補正係数を求めることで感度ばらつきを軽減できます。

■ 積分時間の測定

積分時間の測定時は、必ずマニュアル設定モードにしてください。ADC reset=“0”にするとマイコン側で積分時間の測定を開始します。Sleep monitor (Adrs00 bit5)=“1”を確認することで積分時間 Tmeasが測定できます。

■ 補正方法

補正係数と補正後の感度は以下の式で表されます。

$$K = \frac{T_{set}}{T_{meas}}$$

$$S' = S \cdot K$$

K : 補正係数
 Tset : 積分時間 (設定)
 Tmeas : 積分時間 (測定)
 S : 受光感度 (測定)
 S' : 受光感度 (補正)

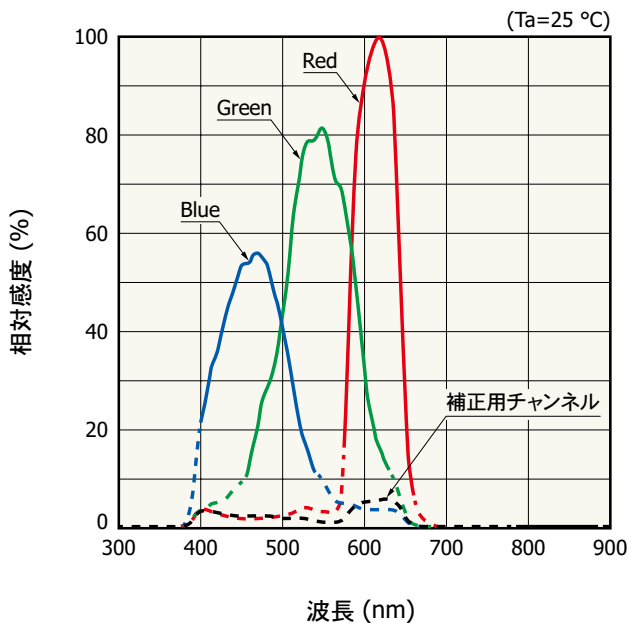
補正係数 Kを使用することにより、感度ばらつきを軽減することができます。

■ 積分時間の測定精度

ループ遅延時間 (Tunit)はTmeasの最小分解能です。Tunitを7.8 msとすれば初期設定における積分時間 (Tset)は546 ms × 4 = 2184 msとなるため、積分時間の測定精度は以下の式で表されます。

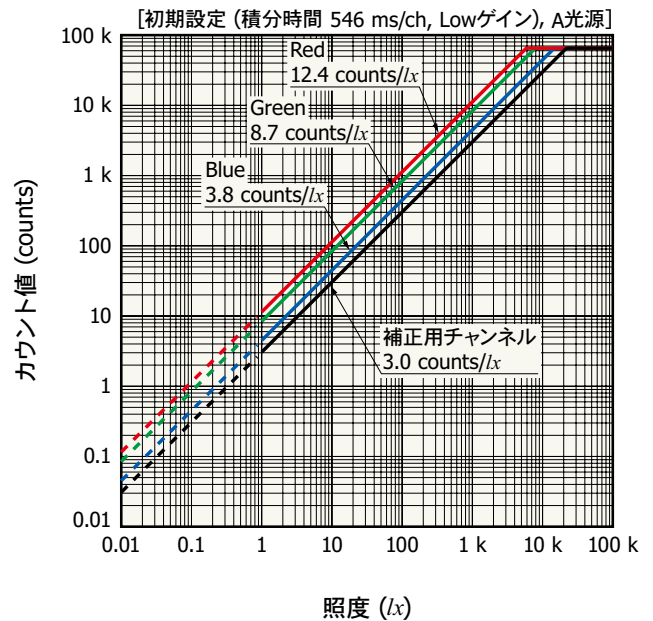
$$\frac{T_{unit}}{T_{set}} \times 100 = \frac{7.8}{2184} \times 100 = 0.36\%$$

分光感度特性 (代表例)



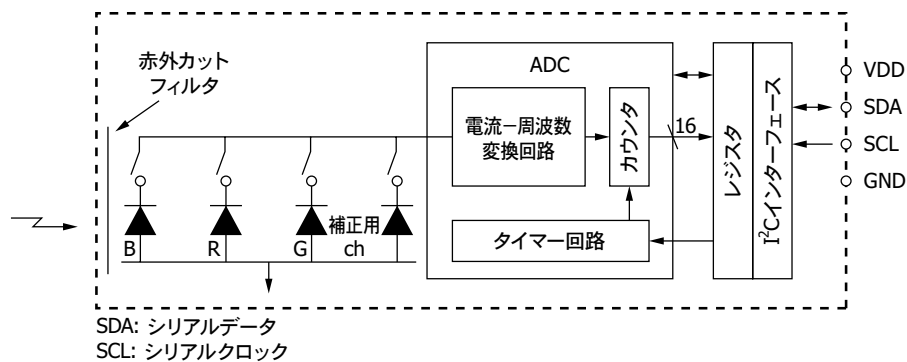
KP1CB0251JB

カウント値－照度 (代表例)



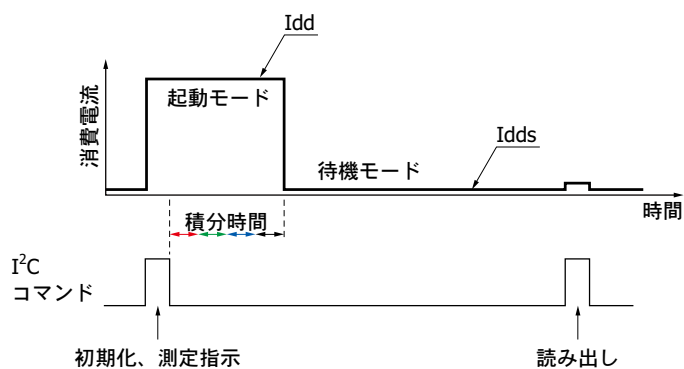
KP1CB0252JB

ブロック図



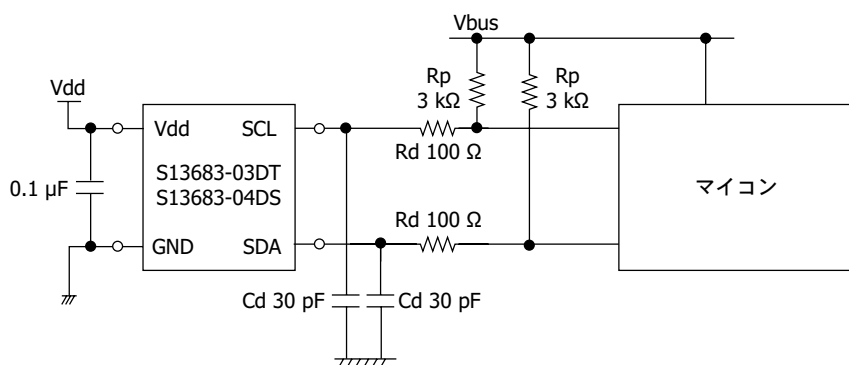
KPIC001523C

スリープ機能のタイミングチャート



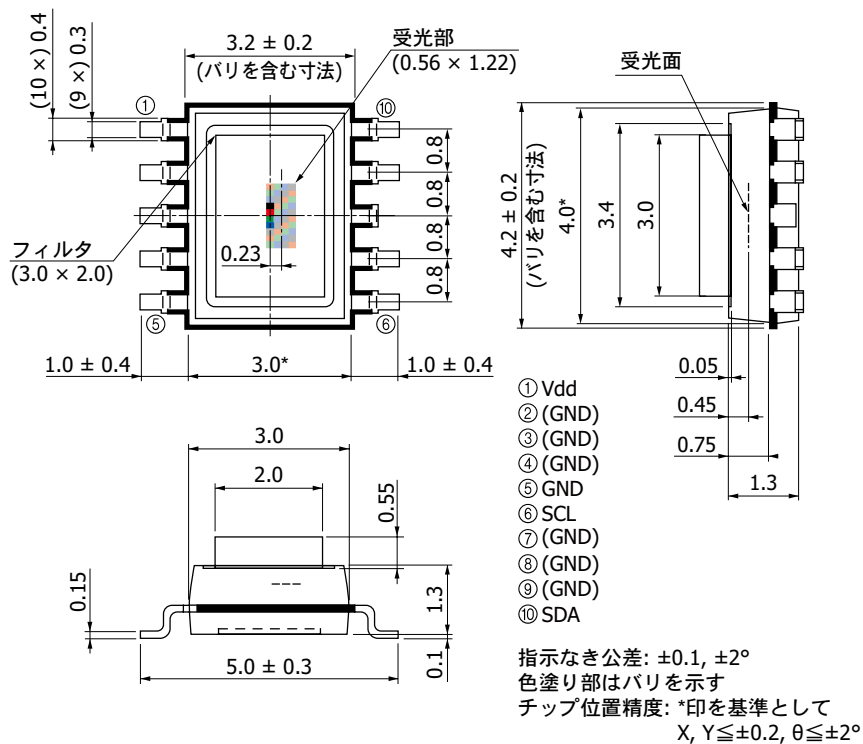
KPIC001581A

接続例



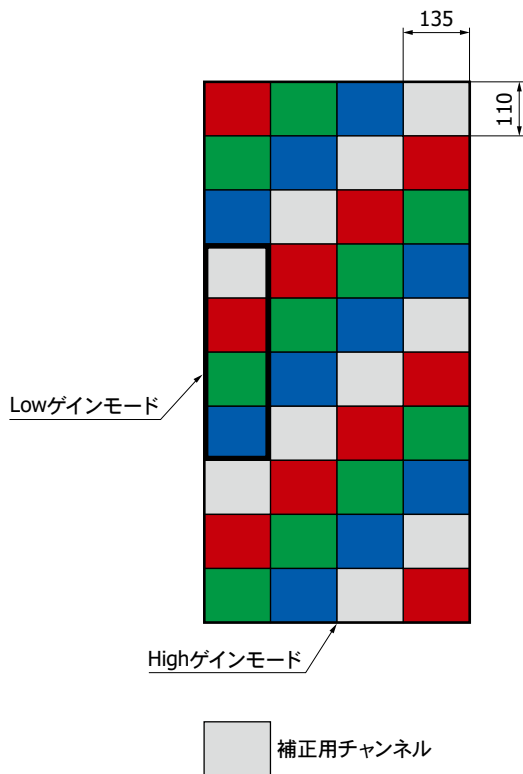
KPIC003391A

外形寸法図 (単位: mm)



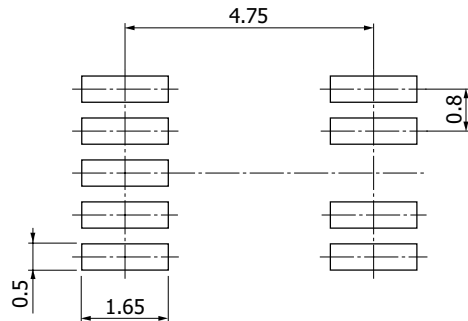
KPICA0111D

受光部拡大図 (単位: μm)



KPIC0349JB

推奨ランドパターン (単位: mm)



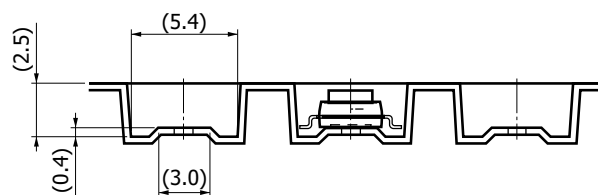
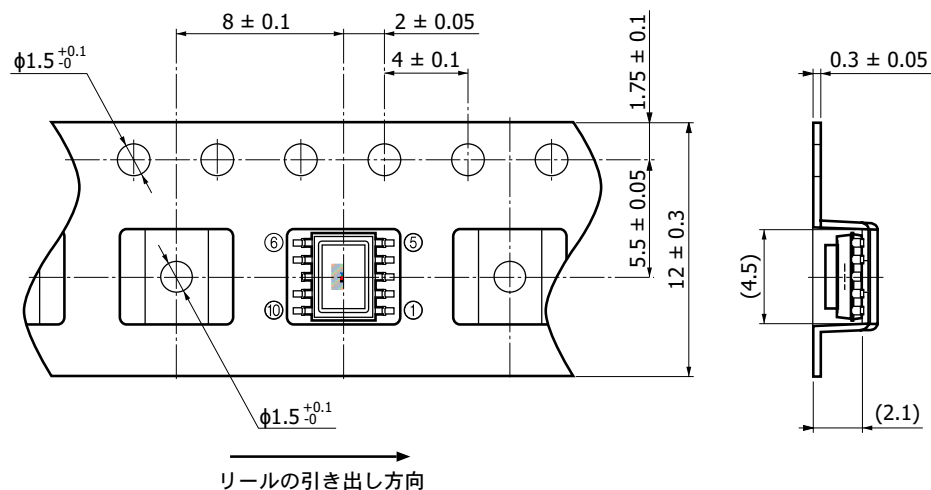
KPIC0223EA

■ リール梱包仕様 (S13683-03DT)

■ リール (JEITA ET-7200準拠)

外径	ハブ径	テープ幅	材質	静電気特性
φ254 mm	φ80 mm	12 mm	PS	導電性

■ エンボステープ (単位: mm, 材質: PS, 導電性)



KPICC01973B

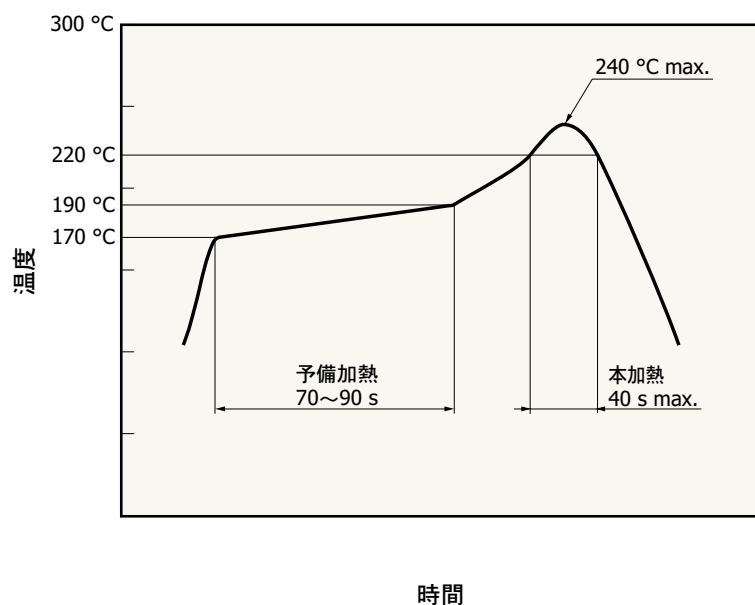
■ 梱包数量

1500個／リール

■ 梱包形態

リールと乾燥剤を防湿梱包 (脱気密封)

推奨はんだ付け条件



KPICB0164JC

- ・本製品は、鉛フリーはんだ付けに対応しています。梱包開封後は、温度 30 °C 以下、湿度 60% 以下の環境で保管して、24 時間以内にはんだ付けをしてください。
- ・使用する基板・リフロー炉によって、リフローはんだ付け時に製品が受ける影響は異なります。リフローはんだ条件の設定時には、あらかじめ実験を行って、製品に問題が発生しないことを確認してください。

関連情報

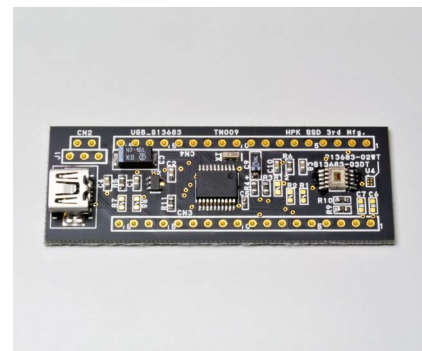
www.hamamatsu.com/sp/ssd/doc_ja.html

■ 注意事項

- ・製品に関する注意事項とお願い
- ・表面実装型製品／使用上の注意

カラーセンサ用評価キット C15701-01

当社製カラーセンサS13683-03DT/-04DS用の評価キット[60 mm (H) × 21.5 mm (V)]を用意しています (S13683-03DT/-04DS付き)。
詳細は、当社営業までお問い合わせください。



本資料の記載内容は、令和6年1月現在のものです。

製品の仕様は、改良などのため予告なく変更することがあります。本資料は正確を期するため慎重に作成されたものですが、まれに誤記などによる誤りがある場合があります。本製品を使用する際には、必ず納入仕様書をご用命の上、最新の仕様をご確認ください。

本製品の保証は、納入後1年以内に瑕疵が発見され、かつ弊社に通知された場合、本製品の修理または代品の納入を限度とします。ただし、保証期間内であっても、天災および不適切な使用に起因する損害については、弊社はその責を負いません。

本資料の記載内容について、弊社の許諾なしに転載または複製することを禁じます。

浜松ホトニクス株式会社

www.hamamatsu.com

仙台営業所 〒980-0021 仙台市青葉区中央3-2-1 (青葉通プラザ11階)
東京営業所 〒100-0004 東京都千代田区大手町2-6-4 (常盤橋タワー11階)
中部営業所 〒430-8587 浜松市中央区砂山町325-6 (日本生命浜松駅前ビル)
大阪営業所 〒541-0052 大阪市中央区安土町2-3-13 (大阪国際ビル10階)
西日本営業所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1-13-6 (いちご博多イーストビル5階)

TEL (022) 267-0121 FAX (022) 267-0135
TEL (03) 6757-4994 FAX (03) 6757-4997
TEL (053) 459-1112 FAX (053) 459-1114
TEL (06) 6271-0441 FAX (06) 6271-0450
TEL (092) 482-0390 FAX (092) 482-0550

固体営業推進部 〒435-8558 浜松市中央区市野町1126-1 TEL (053) 434-3311 FAX (053) 434-5184